

第16回

アディクション・フォーラム in TOTTORI 2025

『目の前の時間を消し去りたい ～オーバードーズの風景～』

講師：倉田 めば

(ダルク女性ホーム大阪職員 精神保健福祉士)

2025 **10/4** 土



受付／9:15～

開会／10:00～16:30

午前 講演会 午後 分科会・体験発表

定員／250名 ※定員に達した時点で入場をお断りする場合がございますのでご了承ください。

会場／**ハワイアロハホール** 湯梨浜町はわい長瀬584

(分科会／アロハホール周辺各室・隣接公民館各室)

参加無料

- 手話通訳・要約筆記あり(講演・体験発表のみ)
- 依存症でお悩みの方や家族のための相談を受け付けます。お気軽に声を掛けてください。

■お問い合わせ／事務局 gfsa1121@yhao.co.jp 鳥取県断酒会 080-5231-5434(森田)
鳥取ダルク 0857-72-1151

■主 催／鳥取アディクション連絡会

■後 援／鳥取県、鳥取県教育委員会、湯梨浜町、湯梨浜町教育委員会、岩美町、岩美町教育委員会
鳥取県立精神保健福祉センター、鳥取県精神保健福祉士会、(公社)鳥取県医師会、(公社)鳥取県中部医師会
(一社)鳥取県薬剤師会、(公社)鳥取県看護協会、(一社)日本精神科看護協会鳥取県支部
鳥取県保護司会連合会、鳥取県更生保護女性連盟、鳥取保護観察所

第16回 アディクション・フォーラム in TOTTORI2025

依存症は病気です。誰でもかかる可能性がある病気です。放っておくと最悪、死に至ることも少なくありません。自分だけの力で依存症から抜け出そうとしても、この病気を克服することはとても困難です。依存症からの回復には支援が必要です。

・・・ご本人にも、ご家族にも・・・

ひとりで問題を抱え込まずに、理解してくれる人がいることを信じて、一步踏み出してみませんか。そして、同じような経験をしてきた方の話をきいてみませんか。さまざまな体験にふれることで、生きる道しるべを見つけることができるかもしれません。

私たちは、ひとりでも多くの人に依存症問題を知っていただき、その苦しみが軽減されるようにと願っています。仲間と協力しながら依存症からの回復に取り組んでいる当事者・家族のメッセージをぜひお聞き下さい。



くら た

倉田 めば ダルク女性ホーム大阪職員

Freedom代表。OD倶楽部コーディネーター。精神保健福祉士。尾道市生まれ。1993年フォトグラファーの仕事をやめ、大阪ダルク設立、2025年3月まで代表を務める。2002年大阪ダルクの外郭団体として「Freedom」を設立。依存症の家族の相談支援にあたる。2022年「OD倶楽部」をスタート。また2025年3月には「野菜クラブ」という大麻の当事者研究グループを立ち上げた。2010年より、パフォーマンスアート、詩作、写真などの表現活動を再開。共著に「リカバリー・アウトロー」(社会学評論Vol.71)「シラフでクレージーになるために〜表現としての回復」(臨床心理学124、金剛出版)「転生する身体〜トランスジェンダー」(臨床心理学増刊15号)他がある。

プログラム

- 10:00～ オープニング 来賓あいさつ(アロハホール)
- 10:15～ 講演『目の前の時間を消しさりたい
～オーバードーズの風景～』
倉田 めば(くらた めば)ダルク女性ホーム大阪職員
- 11:45～ 分科会のインフォメーション
- 12:00～ ◇昼休憩◇
(昼食:ホワイエ各団体ブースをご覧ください)
(分科会会場へ移動)
- 13:00～ 分科会(アロハホール周辺各室、隣接公民館各室)
各種依存症(アルコール、薬物、ギャンブル、
アダルトチルドレンなど)の当事者および
家族の自助グループ、当事者団体など
- 14:00～ ◇休憩◇
(アロハホールへ移動)
- 14:15～ 当事者、家族からのメッセージ(体験談)
- 16:10～ 質疑応答
- 16:30 閉 会

会場へのアクセス



■主な構成団体

NPO法人鳥取県断酒会、NPO法人鳥取ダルク、とっとり喫煙問題研究会、少年問題を考える鳥取の会
鳥取ダルクを見守る会／全国ギャンブル依存症家族の会 鳥取